# 平成17年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事	業	主	管	課	河川課
実	施		機	閨	徳島十木事務所

#### 【事業の概要】

<u> </u>	<u> マフ 19%.</u>	<u>× 1</u>							
事	業	の	種	類	河川・ダム等の整備		河川事業		
事	業 箇 所 名 徳島			-	徳島県徳島市八万町(園瀬川	島県徳島市八万町(園瀬川)			
事	業の	規模	・状	況	7.5 k m		小規模事業a 施行段階		

#### 【事業の目的及び概要】

築堤により無堤区間を解消し、洪水被害の低減を図る。

#### 【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無,モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形· 地質等	生物多 様性	景観	自然との ふれあ い	文化財	廃棄物・ 温室効 果ガス等	RDB種 の有無	モニタリ ングの要 否
						対象外			

#### 【特に配慮した環境要素と実施事項】

・起業地で採取したシオマネキを工事の影響を受けに〈い下流側のワンドへ移動させた。 ・掘削時に仮置していたアシを含んだ表土を再利用した。

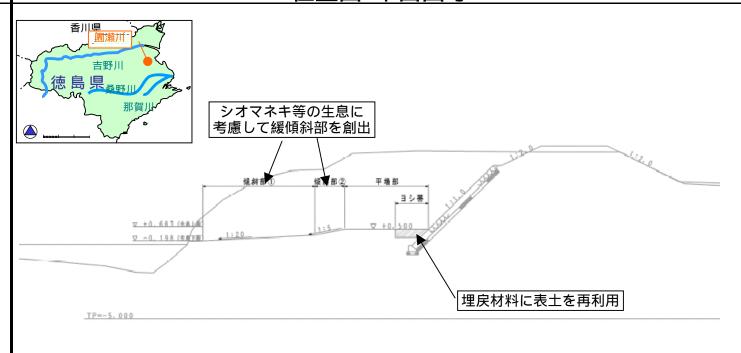
### 【目標に対する達成状況】

施工直後であるため、今後の状況把握に努める。

### 【実施事項に対する評価】

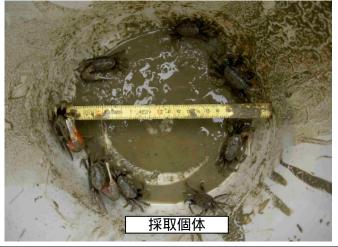
実施者	
主管課	施工直後であるため、今後の状況把握に努める。
専門家	・個体数が維持されることだけでな〈,移植先に新規加入(稚ガニ)があり,順調に成長するかどうかが,移植の有効性を判断する上で重要である.こうした点も含めて適切なモニタリングを行って〈ださい.・ウラギク等の絶滅危惧種にも配慮が必要である。

## 位置図·平面図等



## 写真











移植状況